読　書　三　昧　！

　屋外での活動ができないこの時期、無性に本が読みたくなる。読みかけてそのままになっていたり、購入して積んだままになっていたりする本を読む。書店に行ってめぼしい本を買い求めて読む。
　それでも足りずソフィアセンターやラピカに出掛けて読む。暖房のきいた部屋でゆったりと読書することは、この上ない至福の時だ。肩のこらない時代小説を主に読む。火坂雅志・佐伯泰英・葉室麟の３氏は、とくに好きな作家だ。火坂氏の文章は軽妙な筆致なので、物語の中にズルズルと引き込まれる。佐伯氏の作品は場面構成がしっかりしているので、シリーズものにいつの間にかのめり込んでしまう。葉室氏の作品は登場人物が織りなす人間模様をきめ細かく表現されているので、心を大きく揺さぶられる。
　どの小説を読む場合でも、映画監督や TV 演出家になったつもりで登場人物に好きな俳優を当てはめながら読む。自称「サユリスト」なので、ヒロインには吉永小百合さんをいつも当てはめながら読む。私にとって読書とは、本を読むというよりも映画や TV ドラマを見ているような感覚だ。
　行きつけの書店には３氏の新刊情報を依頼してある。連絡が待ち遠しい。